

介護職員・保険代理店・弁護士など
介護事故に関わるみなさまへ

みんなで検討！



オンライン開催
参加自由・無料

12月22日開催

介護事故事例検討会のご案内

安全な介護では、毎月事故事例検討会を開催しています。主に特養や老健などの施設の介護事故事例を、みんなで検証したいと思います。介護職員や損害保険代理店や弁護士など、どなたでも参加は自由です(無料)。参加者に発言を求めることはありませんので、「事故カンファレンスの参考に聞いてみたい」という方もお気軽にご参加ください。

■ 事故事例検討会の進め方

事故事例を読み上げて、事例検討の方法をご紹介します。事例検討は下記の5つの視点で施設の対応に問題が無いかどうかを検討します。問題がある場合は、その改善策と一緒に考えてください。5つの検証の中で、一度だけグループ討議を交えて意見交換も行います。事前に事故事例に目を通してからご参加下さい。

次の5つの視点で事故を検証します。

1. 事故の過失の有無→防ぐべき事故だったのか？
2. 事故発生時の対処→マニュアル通り適切な対処ができたか？
3. 事故の原因分析→原因分析をしたか？それは適切だったか？
4. 再発防止策の検討→再発防止策を検討したか？それは適切だったか？
5. 事故後の家族対応→事故状況の説明など家族対応は適切だったか？

■ 開催要領

主催:株式会社安全な介護 協力:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

日時:2022年12月22日(木) 13:30~15:00

参加資格:**リスクマネジメントに興味のある人はどなたでも参加できます**

申し込み方法:下記のURLからお申込み下さい。締め切り後に参加招待状をお送りします。<https://bit.ly/3L2I2Jn>

オンライン方式:ZOOMを使用します

締め切り:12月15日

【お問い合わせ先】

株式会社安全な介護 担当:山田
豊島区西池袋5丁目26-15 久保田ビル2F
TEL:03-5995-2275 FAX:03-5986-1776
mail : info@anzen-kaigo.com

12月の事象事例

原因不明の足の傷を虐待と誤解され国保連に苦情申立

●利用者の状況

○利用者の状況：女性 95歳 要介護5

■既往歴：脳梗塞、大腿骨骨折、糖尿病、認知症・重度

■ADL：移動・車椅子、食事・全介助、排泄・オムツ、入浴・機械浴 移乗・二人介助

■服薬：アリセプト20mg、メルビン250mg、ワーファリン5mg

●事故発生状況及び発生時の対応状況

ある日面会に来た息子さんが、利用者の足の爪を切ろうとしてリハビリシューズを脱がすと、右の靴下に出血の跡がありました。介護職と一緒に靴下を脱がせてみると、右足の第二指の裏側の第一関節付近が横に切れて、出血し血が固まっていました。介護職はすぐに看護師を呼んで手当てをしましたが、息子さんは「靴下とリハビリシューズを履いているのに、どうしてこんな場所に切り傷ができるのか？」と尋ねられました。看護師は「午前中の入浴介助の時に何かで切ったのではないか？」と言いました。

フロア主任は「入浴後には靴下を履く前に足の指まできちんとタオルで拭いているから、入浴中にできた傷ではないだろう」と言い、傷の原因については明確な答えは得られませんでした。

翌日息子さんは再度施設に来て、看護師とフロア主任に傷の原因について尋ねましたが、相変わらず「わからない」の一点張りでした。息子さんはそのまま施設長に面会し、「何もしないで足の裏に切り傷ができる訳がない。誰かがわざと切ったのだろう。虐待の疑いがあるから調べて欲しい」と言いました。

施設長はビックリして、「うちの施設の職員で、故意に利用者の足を切るような職員がいる訳がないでしょう。絶対に虐待はない」と断言しました。それでも息子さんは納得せず、1週間後に国保連に苦情の申立を行いました。

事故事例検討用紙

●過失の有無 [防ぐべき事故だったか?]

●事故発生時の対処 [事故対応は適切だったか?]

●原因分析 [原因分析をしたか?それは適切だったか?]

●再発防止策検討 [再発防止策を検討したか?それは適切だったか?]

●事故後の家族への対応 [事故状況の説明など家族対応は適切だったか?]